

## 連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前会計年度末	前会計年度末との増減
流動資産	18,091	18,299	△207
固定資産	15,616	14,979	637
流動負債	7,540	5,919	1,621
固定負債	1,561	1,522	38
純資産	24,606	25,837	△1,231
総資産	33,708	33,279	429

## 連結損益計算書のポイント

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増 減	前期比	通期業績予想
売上高	9,838	16,414	△6,575	59.9%	21,000
営業利益	△873	1,927	△2,800	—	△1,200
経常利益	△826	1,956	△2,783	—	△1,200
四半期純利益	△441	745	△1,187	—	△750

## 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	919	1,617	△697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,156	△531	△625
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,985	△1,021	3,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△185	121	△307
現金及び現金同等物の増減額	1,563	186	1,376
現金及び現金同等物の期首残高	6,821	6,880	△59
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,384	7,066	1,317

## 総資産 前会計年度末比 4億2千9百万円増加

前会計年度末に比べ、たな卸資産が約14億円減少している一方で、主に投資その他の資産のうち、保証金および繰延税金資産が増加、また、無形固定資産のうち、ソフトウェア資産が増加したことにより、総資産は前会計年度末比4億2千9百万円増加し、337億8百万円となりました。

## 負債総額 前会計年度末比 16億6千万円増加

前会計年度末に比べ、主に流動負債のうち、短期借入金が増加したことにより、負債総額は前会計年度末比16億6千万円増加し、91億1百万円となりました。

## 純資産 前会計年度末比 12億3千1百万円減少

前会計年度末に比べ、配当金の支払いおよび四半期純損失の発生により、その他利益剰余金が減少、また円高による評価・換算差額の発生もあり、純資産は前会計年度末比12億3千1百万円減少し、246億6百万円となりました。

## 営業利益 減収に伴い28億円減少 営業損失8億7千3百万円

各種緊急対策の実施により、前年同期に比べ約16億円の製造固定費および販売管理費の削減に努めましたが、売上総利益の減少を吸収するには至らず、当第2四半期は8億7千3百万円の営業損失となりました。

## フリー・キャッシュ・フロー 2億3千6百万円の支出

営業活動によるキャッシュ・フローは、大幅な減益に伴い前期比6億9千7百万円減少しました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主として拠点再編成に伴う土地建物の取得、また新規ソフトウェアの導入により、前期比6億2千5百万円の支出増となりました。この結果、当第2四半期のフリー・キャッシュ・フローは2億3千6百万円の支出となりました。

## 四半期純損失 4億4千1百万円

減収に伴い、経常損失は8億2千6百万円となりましたが、主に税効果会計の適用により、四半期純損失は4億4千1百万円となりました。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー 19億8千5百万円の収入

当第2四半期においては、今後の資金需要に備えるため、短期借入金による資金調達を行ったことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは、前期比30億6百万円増加し、19億8千5百万円の収入となりました。



より詳細な財務情報をご希望の方は、IDECホームページ「投資家情報」  
[http://www.idec.com/jpja/investor\\_center/index.html](http://www.idec.com/jpja/investor_center/index.html)  
に掲載している決算短信をご利用ください。